

第55回中学生作文コンクール

都道府県別賞一等

保険の掛金っておもしろい

栃木県 宇都宮市立雀宮中学校 三学年

武田 涼乃

先月、高校三年生の兄が、新しく通帳を作りました。理由を父に聞いたところ、

「満十八歳になると学資準備のための保険が満期になり、そのお金を、通帳に振り込んでもらうためだよ。」

と教えてくれました。

「私のもあるの？」

と聞き返したら、

「もちろん入っているよ。」

と言って、掛金の表を見せてくれました。それを見て、おもしろいと思ったことが二つありました。

一つ目は、男女で掛金が違うことです。受け取る額は兄といっしょですが、私の方が掛金が安いことにびっくりしました。理由は、男の方が給付金を受け取る確率が高いからだそうです。女の私としては、ちよつと得した気持ちになりました。

二つ目は、毎月の掛金を十二倍して、そのうえ、十八歳まで払うから十八倍すると、百万円以上するのに、満期になっても、百万円しかもらえないことです。それだったら、毎月、貯金している方がよいと思うのですが、実は、そうではないようです。パンフレットをよく見ると、小学校卒業時と中学校卒業時にそれぞれ十万円ずつもらえます。さらに、もし入院したり病気になったりしたら、一日五千円もらえます。それを知ったら、逆に安心してしまいました。

「保険に入っているから、こうして安心して暮らせるんだよ。」

と母も言い、私と同じ考えでした。

今度は父が

「もっと良い物を見せてあげるよ。」

と言い、自分の生命保険の掛金の表を持ってきました。それは、掛け捨て型で、保障額は自分で選べるそうです。

「今のお父さんは、何万円コースなの？」

と、私が聞くと、父はこう言いました。

「今は、五百万円コースだけど、涼乃が小学生の時は、一千万円コー

第55回中学生作文コンクール

スだったよ。そして、涼乃が幼稚園の時は、一千五百万円コースにしていたよ。」

「えっ、何でそうしたの？」

と聞いたら、次のように話してくれました。

私の父は、五年ごとに保険の見直しをしているそうです。同じ金額のコースを選び続けると、掛金は、どんどん増えていく仕組みだそうです。若い時は、安い掛金で大きな保障なのに、だんだん掛金が高くなり、保障は小さくなっていくそうです。

「保険の掛金って良くできているなあ。」
と、思いました。

私は今まで保険について、あまり考えたことはなかったけれど、今回掛金の表を見せられたり、保険の話を知ったりして考えさせられたことがあります。それは、「保険は、安心して暮らすために大切なもの」ということです。さらに、自分に合ったものを選ぶことが大切だと思います。私の保険は貯蓄型なのに父の保険は掛け捨て型です。理由を聞くと、

「家族全体のことを考えて、そうしているんだよ。」

と言い、詳しくは教えてくれませんでした。しかし、私は何となく分かったような気がします。

私が今加入している保険が満期になった時は、自分の生活に合った保険を選びたいです。